

問一 傍線部㉑の漢字の本文中の意味として、適切なものを次の中から一つずつ選べ。(各一点 計二点)

- ㉑子 一、息子 二、先生 三、あなた 四、親子 五、さきほど

「子」↑重要語句!

- ①あなた ②先生

今回は、文脈から①の「あなた」が適当

【答え 三】

- ①辞 一、断って 二、挨拶して 三、辞職して 四、離れて 五、怒って

「辞」

- ①やめる ②ことわる ③別れを告げる

文脈から…①が適当!

【答え 一】

問二 本文中の(1)には、すべて同じ漢字が入る。最も適当なものを次の中から一つ選べ。(二点)

- 一、忽 二、於 三、而 四、暫 五、則

縁ヨラバ子之言ニ(1)室不ラント敗レ也。君の言葉通りなら、部屋は崩れないね。

木益ますます枯ルレバ(1)勁つよし。木はどんどん乾けば、それだけ強くなる。

塗益乾かわケバ(1)軽シ。泥はどんどん乾けば、それだけ軽くなる。

以テ益ニ勁キヲ任ゼバ益軽キニ(1)不ト敗レ。強いものが軽いものを支えれば、

崩れることはないってことだよな。

対句となっている。ポイントは(1)の直前にある「レバ」…ここから「レバ則」を発想しよう!
「レバ則」…「うするとすぐに…」 「うするとそこで…」など、順接的に訳せば幅広く対応できる

【答え 五】

問三 傍線部①は、「生乾きのままで家を建てたら、今はよいとしても、後にはきつと家が壊れてしまうでしょう」という意味である。適するように返り点をふれ。(四点)

以生為室、今雖善、後將必敗

まず、「返り点」「訓点」の違いを理解しよう

「返り点」：

「訓点」：

問題をよく読み、どちらを「ふれ」と言っているか間違えないようにすること！

以 生 為 室、

生乾きのままで家を建てたら、

→ ここから考えよう。

「家を建てたら」↓「為 室」であるから、「生乾きのままで」が「以 生」である。

次に：

今 雖 善、

今はよいとしても、

→ 「雖」が、「いえども」と読むことを覚えておこう

後 将 必 敗

後にはきつと家が壊れてしまうでしょう

→ 「将」は再読文字。「今にもくししようとす

訳にはその意味が入っていないが、「きつとすぐつぶれちゃうよ」というニュアンスが含まれた「後にはきつと…」という訳となることを理解しよう

【 答え 以 生 為 室、 今 雖 善、 後 将 必 敗 】

問四 傍線部①について、この「日」がかかる会話文はどこまでか、終わりの二字の漢字を書け。(三点)

以^テ益^ニ勁^{キヲ}任^{ゼバ}益^ニ軽^{キニ}、則^チ不^ト敗^レ。 ↑「不」の送り仮名に「ト」がついている

匠人無^ク辞^{シテ}而^{フベキ}対^フ、…大工は、断って返答することができず…

→ 明らかに場面が変わっている！

【 答え 不敗 】

問五 傍線部③筆者の述べる「小察」④「大理」とは何か。具体例を含め、小察は六十字、大理は五十字以内で書け。(各七点 計十四点)

これは難しい！

前後を訳し、答えとなる箇所がどこになるか、分析してみよう

匠人無辞而对、大工は、断つて返答することができず

受命而为之。命令を受けて、これ(部屋)を作った。

室之始成也善。部屋を作ったばかりはよかった。

其後果敗。が、その後結局崩れてしまった。

高陽応好小察而不通乎大理也。高陽応は「小察」を好ん

で、「大理」を理解できない者のようだ。

…となる。もう少し分析を進めてみよう

大工は、大工としての自分の経験から、「部屋は、まだ作れない」と言った。

高陽応は、自分の理屈を押し通し、大工の反対を押し切つて部屋を作らせた。すると、やはり部屋は大工の言う通り崩れてしまった。

ここからわかることは…

高陽応の理屈…「小察」

大工の理屈…「大理」

と読み取ることができる！

本文中からそれらを見つけよう！

高陽応の理屈…

木益枯則勁。ますます 枯 則 勁。

塗益乾則軽。かわケバ 乾 則 軽。

以益勁任益軽、則不敗。テ 益 勁 任 益 軽、 則 不 敗。

木はどんどん乾けば、それだけ強くなる。泥はどんどん乾けば、それだけ軽くなる。強いものが軽いものを支えれば、崩れることはない。

そして、これをまとめるだけでは「小察」の説明としては不足！

どうして筆者が「小察」と言っているのかも含めて答えたい。

つまり「高陽応の理屈」は「専門家でない者の屁理屈である」こと

これゆえ「小察」なのである。

大工の理屈

木ホ尚なまナル生ナリ者ナリ。加ヘバ塗どろろ其上ニ、必ズ将ニ撓たわマント

生乾きの木の上に、泥を盛れば、必ずたちまちたわんでしまう。

これも同様に「大理」である説明を加えたい。

つまり「経験に裏付けられた専門家の正しい意見」である。

【答え 小察…木は乾けば強くなり、泥は乾けば軽くなるのだから、強い木の上に軽い泥を盛れば崩れることはない、という高陽応の屁理屈。

大理…生乾きの木の上に泥を盛れば、必ずすぐにたわんでしまうという、大工の、専門家としての正しい意見。】

採点基準

小察

「強い木の上に軽い泥を盛れば崩れることはない」が書けていて二点。
「木は乾けば強くなり、泥は乾けば軽くなるのだから」が書けていて一点。
「高陽応の屁理屈」などの表現ができていて二点。
まとまった意味の通る文章になっていて一点。

大理

体言止めになっていて一点。(名詞の説明として正しい表現)
「生乾きの木の上に泥を盛れば、必ずすぐにたわんでしまう」で二点。
「大工の意見」が書けていて一点。
「専門家としての正しい意見」などの表現(正解は幅広く)で二点。
まとまった意味の通る文章になっていて一点。

減点事項

小察は五十字、大理は四十字を下回っていた場合、短すぎとして三点減点。
文字数オーバーはゼロ点。